



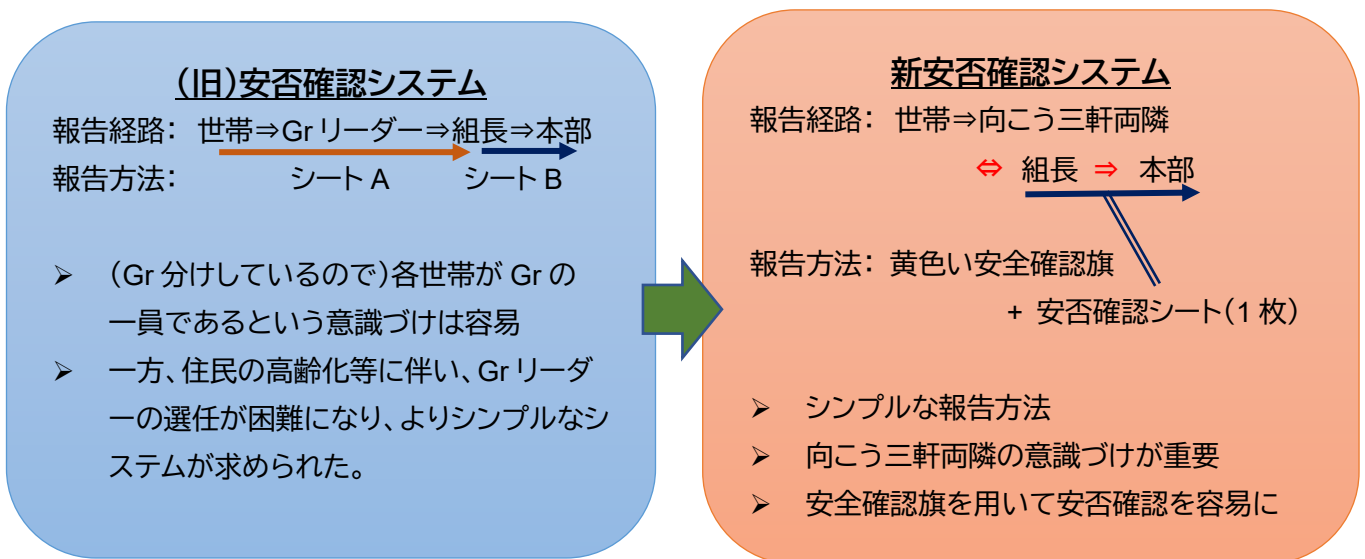
特集：新安否確認システム初年度振り返り

衣川台にお住いの皆さま、平素より自主防災活動へのご協力ありがとうございます。今年度はコロナ禍の中、6月と11月の2回の防災訓練を実施することができました。今年度の防災訓練は新安否確認システムの定着を目標としていました。種々の課題が見えてくる中、少しずつですが成果も現れてきたと考えております。今回は新安否確認システムの初年度を11月の防災訓練を中心に振り返り、皆さまと課題や成果を共有させていただきたいと考えております。

内容

1. 新安否確認システムの発動
2. 前回(11月13日)の防災訓練の振り返り
3. 防災訓練時の自主防災部の活動

1. 新安否確認システムの発動



- ・ 新安否確認システムにより、報告経路がシンプルになり、Grリーダーの選任の必要がなくなりました。
- ・ 一方、平素より向こう三軒両隣が共助単位であるという意識づけが重要になり、黄色い安全確認旗にとどまらない相互確認が必要となりました。
- ・ また組長の負荷が増加することが懸念されるため、前年度組長に加え、自主防災部本部からの組長支援チームの派遣等の初動班の充実を図っております。

2. 前回(11月13日)の防災訓練の振り返り

6月12日に実施した第1回防災訓練の振り返りは、なまず通信10月号を参照お願いします。(衣川台自治会ホームページもご活用ください)

11月の安否確認状況は次の通りでした。

- 防災訓練参加世帯:324 (内、黄色い安全確認旗掲示率:約 72%)
- 応答無世帯:56
- 計:381 世帯
- 訓練開始時刻 8:30 に対し、報告時間は 8:45 ~ 9:10

6月は、最終報告が 9:30 でしたので、安否確認はスムーズに行われたと考えております。

今回の防災訓練では、重要テーマとして以下を挙げていました。それぞれについて、概略報告致します。

- A) 黄色い安全確認旗掲示の徹底
- B) 共助活動
- C) 安否確認シートの報告方法
- D) 全戸アンケートの実施

A) 黄色い安全確認旗掲示の徹底

各組の防災訓練参加世帯に対する安全確認旗掲示世帯の割合を図 1 に示す。

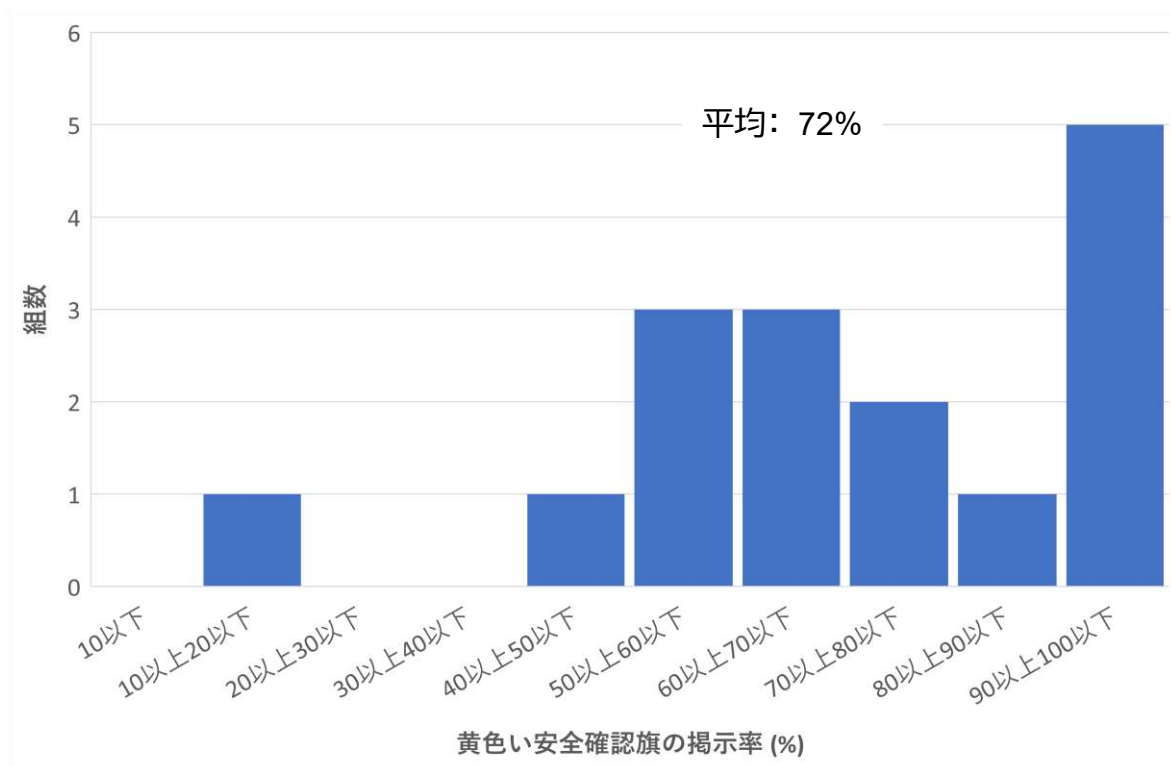


図 1. 各組の黄色い安全確認旗の掲示率の分布

平均 72%であったが、20%以下から 100%まで広く分布していた。90%以上の世帯が掲示していた組が 5 組あったことから、今後住民の方々の意識の持ちようによって、かなり掲示率をアップすることが期待できることがわかった。また、今回の防災訓練はなまず通信 10 月号での案内のみで、事前の訓練案内の回覧をおこなわなかったことで、訓練の認知がいきわたっていなかったこともデータに反映されてしまっているかもしれない。20%以下の組があったことは残念であり、全体の底上げとともに、要改善点となった。

安全確認旗の掲示方法についても、

- ① 道路から見にくい位置への掲示もみられた。
- ② 配布した黄色い安全確認旗以外(タオル等)での掲示も見られた。
- ③ 安全確認旗を紛失されたため掲示できなかった世帯もあった。

上記②については、黄色いタオル等で明らかに安全確認旗の代替であることがわかれば良いのですが、有

事の際に、誤認識があってはならないので注意お願い致します。

黄色い安全確認旗についてのご相談・問い合わせは、事務局長 堀内 ☎ 080-4246-8508 までお願い致します。

B) 共助活動

安全確認旗の掲示率が平均 72%ということから、向こう三軒両隣に掲示されていない世帯があるケースが多かったと考えられますが、それに対して“お声がけ”や“組長への報告”等の共助活動は少なかったのではないのでしょうか。

各世帯ごとの安全確認旗の掲示に続き、もう一步共助活動にご協力お願い致します。

C) 安否確認シートの報告方法

6月の防災訓練の反省も踏まえ、安否確認シートを修正しました。前回と比較して、本部への報告がスムーズであったと感じています。

D) 全戸アンケートの実施

70世帯から回答を得ました。

質問および“はい”の割合は次の通りでした。

- ① 黄色い安全確認旗は掲げましたか？ ⇒ 96%
- ② 黄色い安全確認旗が出ていない隣近所での声掛け確認はどうでしたか？ ⇒ 71%
- ③ 訓練の広報内容は聞き取れましたか？ ⇒ 56%

アンケートにお答えいただいた方々は、ほぼ安全確認旗を掲示いただいたとのこと、ご協力ありがとうございます。

上記②は、共助活動に対する質問でしたが、“あちこちで旗が出ていないお宅への声掛けをされている姿が見られました。とても頼もしく嬉しい限りでした。”という書き込みもありました。一方で全体的には、まだ共助への意識が薄いという書き込みが多い結果でした。

また、その他お気づきの点についての書き込みは、

- ・ 防災訓練の告知方法 ⇒ 今回はなまず通信の裏面を用いての告知でしたが、タイミングが早すぎる、別途回覧すべき等のご指摘が非常に多かったです。次回の改善点とさせていただきます。
- ・ 安否確認シートの置き場所を決めておくべき

その他、貴重なご意見をいただきました。改めて感謝いたします。



組長さん、前年度組長さん、
ご協力ありがとうございます。



本部へのご報告ありがとうございます。
ございます。

3. 防災訓練時の自主防災部の活動



本部立上げ

実際の有事の際を想定し、2枚の大きなブルーシートで土足対応しました。

広報活動

声を張り上げています。



安否確認集計作業

前回よりはスムーズにできました。



訓練総括

良くできたこと・・・
課題として残ったこと・・・

この後、各班に分かれて、班会議や機材チェック等をおこないました。

今回の防災訓練では、組長支援チームの人員(16名)の確保がギリギリでした。有事の際は、足りないことも考えられ、各組のメンバーだけで安否確認をおこなっていただくケースもあり得ると考えられます。その際は宜しくお願い致します。

一方、そういったケースに備える意味も踏まえ、有事の際に動くことができる自主防災部の活動員を常時募集しております。拘束時間はほとんどありませんので、可能な方はお近くの自主防災部員にご連絡をお願い致します。自主防災部からもお願いに参るかもしれませんが、その際はご一考お願い致します。

以上